

平成 28 年度青森県教育委員会免許法認定講習 I 開催要項

青森県教育委員会

1 目的

この講習は、所持免許状が二種免許状である教員及び学校栄養職員について、教育職員免許法に基づき、一種免許状及び栄養教諭免許状の取得に必要な単位を修得できるよう開催し、もって資質の向上を図ることを目的とする。

2 会場、講習月日及び開設科目一覧

(1) 会場 国立大学法人弘前大学（弘前市文京町 1）

(2) 講習月日及び開設科目

講習月日	免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分		開設科目
				開催会場
7月27日（水）	養一種	養護	解剖学及び生理学	解剖学及び生理学 （講師）弘前大学 小玉 正志
7月28日（木）				国立大学法人弘前大学
8月 2日（火）	小一種 中一種	教職	教育課程及び指導法に関する科目（教育課程の意義及び編成の方法） 養・栄＝教育課程に関する科目（教育課程の意義及び編成の方法）	教育課程の意義及び編成 （講師）県立保健大学 浅田 豊
8月 3日（水）	養一種 栄一種 栄二種			国立大学法人弘前大学
8月 4日（木）	小一種 中一種	教職	教育の基礎理論に関する科目（教育に関する社会的、制度的又は経営的事項）	教育社会学 （講師）弘前大学 大坪 正一 福島 裕敏
8月 5日（金）	養一種 栄一種 栄二種			国立大学法人弘前大学
8月18日（木）	小一種 中一種	教科	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	家庭（食物学） （講師）弘前大学 加藤 陽治
8月19日（金）	（家庭）			国立大学法人弘前大学

※ 修得できる単位数は全科目 1 単位である。

※ 3 授業時間割表（1科目2日間 全16校時） ※（ ）は2日目

	校 時	授業時間
午	1 (9)・2 (10) 校時	9 : 0 0 ～ 1 0 : 3 0
前	3 (11)・4 (12) 校時	1 0 : 4 0 ～ 1 2 : 1 0
午	5 (13)・6 (14) 校時	1 3 : 1 0 ～ 1 4 : 4 0
後	7 (15)・8 (16) 校時	1 4 : 5 0 ～ 1 6 : 2 0

4 受講資格

次のいずれかに該当すること。

- (1) 小学校、中学校及び特別支援学校の教員のうち、小学校教諭二種免許状又は中学校教諭二種免許状を有し、教育職員免許法別表第3により、それぞれの一種免許状を取得しようとする者。
- (2) 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の養護教諭のうち、養護教諭二種免許状を有し、教育職員免許法別表第6により、養護教諭一種免許状を取得しようとする者。
- (3) 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、給食センター等に勤務する学校栄養職員で、教育職員免許法附則第18項により、栄養教諭免許状を取得しようとする者。
- (4) その他適当と認める者。

5 成績審査

- (1) 定められた授業時数の、5分の4（13校時）以上の出席者について審査する。
- (2) 審査方法は、レポートの提出等による。
- (3) 合格者には、「学力に関する証明書」を発行する。

6 受講者が準備すべきもの

受講者に後日連絡する。

7 受講申込方法等

- (1) 申込書提出先

〒030-8540 青森市新町二丁目3-1

青森県教育庁教職員課 総務・免許グループ

TEL 017-734-9893（担当 小山石）

※ 県外からの申込は、所属の都道府県教育委員会を経由すること。

- (2) 申込書提出期限 平成28年6月24日（金）必着
- (3) 宛先を記入し、92円切手を貼付した返信用封筒（長形3号）を1通同封すること。
（県立学校は不要。）
- (4) 申込書を郵送する場合は、封筒の表に「認定講習Ⅰ申込書在中」と朱書きすること。
- (5) 申込書は1名につき1部作成すること。
- (6) 複数の科目を申し込む場合には、必ず受講希望順位を記入すること。
- (7) 定員は各科目25名とし、定員を超える申込みがあった場合には、受講を認めないことがある。

8 受講料

1 単位につき 6 1 0 円（納付方法は、受講許可者に後日送付する受講料納付書に青森県収入証紙を貼付することによる。本県以外の教員の受講者については普通為替可。）

9 その他

- （1）受講者は、教育公務員特例法第 2 2 条第 2 項により「職務に専念する義務の免除」の扱いとなるので、各自手続きすること。
- （2）受講申込者には、審査のうえ、受講許可書及び受講料納付書を交付する。
受講許可書のない者は原則として受講を認めない。（許可書の再発行は行わないので、注意すること。）
- （3）原則として、申込後の取消しは認めない。
- （4）科目によっては、教材等の代金を徴収する場合があるので承知すること。
- （5）弘前大学への自家用車による乗入れは、厳禁とする。

また、弘前大学周辺に駐車場はないので、会場までの交通手段はバス等を利用すること。